

令和6年度第3回宮代町立図書館協議会議事録

日時：令和7年3月13日（木）16時00分～17時15分

場所：宮代町立図書館 研修室

●出席者 委員：山内薫・村山ふさ江・中村昭子・宮野紀子・大力芳紀・白木正勝・古谷諭史・
国川恵子・和田あゆみ（順不同、敬称略）

事務局：橋本主任

指定管理者：清水図書館長、永堀一般チーフ、名倉児童チーフ

●欠席者 委員：長井勝利（敬称略）

●次 第

- 1 開会
- 2 報告事項 令和6年度下半期事業報告（利用状況等）について資料1・資料2
- 3 その他
- 4 閉会

●会議概要（1省略）

（1）令和6年度利用統計について…清水館長から説明（別添資料参照）

《（1）に関する特記事項》

- ・入館者・登録者貸出者状況について、全体的に数字が伸びていない。入館者数87%、登録者数95%で推移している。
- ・資料貸出及び予約状況について、電子書籍が対前年比123%と好調。AVの館内利用も100%。
- ・行事参加者数について、全体的に減少しているが、「ライブラリーシアター」や「ナクソスミュージックライブラリー利用コンサート」は人気で、それぞれ121%、124%と好調。
- ・「特別企画」については、動物園の講演会も入っており133%と伸びている。
- ・広域利用、広域貸出数ともに、宮代町のシェア約70%、広域計約30%となり、昨年と同時期と同じように推移している。WEB貸出延長利用状況の広域は35.5%と他の広域と比較して高くなっている。
- ・時間帯の利用者は10時～11時、14時～16時に利用される方が多く、同じように推移している。

《（1）に関する主な質疑応答》

委員 今説明があった状況に対して、図書館の感想を聞きたい。

図書館 行事参加者数について、映画や音楽のイベントはリピーターが多くなっている。

委員 6月の児童登録者数がほかの月より増えている理由はあるのか。

図書館 小学新1年生に「らんどせるブック」という事業を行っている。その際、図書館利用カードを希望される方にはカードを作っている。発行が毎年6月になるので児童の登録が多くなる。

- 委員 時間帯別利用者数について、19 時のところに何名かいるが、19 時に来て利用されるのか。
- 図書館 19 時に閉館するが、閉館時間を過ぎてもゲートを通られる人がいる。開館時間に間に合わないが、本だけ返しますという人もいる。お客さんが出ないとゲートを閉められないので、その間にゲートを通った人がカウントされている。
- 委員 行事参加者数の特別企画は昨年よりも大幅に増えている。特に 9 月が 232 名となっているので、企画が当たったということか。もしできたら、東武動物公園のホワイトタイガーが生まれたので、そのビデオの上映を動物園とタイアップしてやっていただけないか。
- 図書館 9 月は認知症月間での特別映画会 83 名、回想サロン 19 名参加した。一番大きかったのは開館 30 周年のイベントで田中信秋先生の講演会が 130 名来られた。東武動物公園は今年の 1 月「いのちをまもるじゅういのしごと」で 92 名の参加があった。ビデオを流すのは著作権の観点から難しいと思う。
- 委員 ホワイトタイガーを飼育している人に話を聞いても良いのではないか。東武動物公園の企画は毎年やっても良いと思う。
- 図書館 東武動物公園とは今後なにかしらやっていこうという話にはなっている。
- 委員 雑誌の相互貸借のところで、定期的にこの雑誌を借りたいというリクエストはあったのか。
- 図書館 ギターマガジンなど。
- 委員 全体的に利用が減っているが、埼玉県自体もコロナ以降伸び悩んでいる。市立図書館で 2007 年から昨年までの統計を見ると 91%、町村合計 79%、宮代町 71%となっている。宮代町と同じレベルの 20 万冊貸出している町の図書館を見ると、小川町 68%、杉戸町 78%、三芳町 74%、毛呂山町 77%、寄居町 95%となっていて、どこの図書館でも貸出冊数は減っている。この状況を図書館としてどう考えているのか。
- 図書館 白岡市は一人あたりの貸出冊数は伸びているので、その影響もあるのではないかと考えている。貸出冊数の減少は全国的な傾向。
- 委員 久喜の県立図書館も熊谷に集約される。県立図書館は記録を残す、市町村の支援になっていて図書館機能は市町村が行うように変化してきている。
- 委員 全体の蔵書の中で電子図書の割合は？
- 図書館 6.5%。電子図書のニーズが増えてくれば増えてくるかもしれない。
- 委員 電子図書の利用に制限はあるのか。
- 図書館 宮代町では、宮代に在住・在勤・在学している方が対象。

(2) 重点課題（事業概要）令和6年度下半期について…清水館長から説明（別添資料参照）

《（2）に関する特記事項》

- ・赤文字表記が上期、青文字表記が下期になる。
- ・③利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集について、電子書籍の利用促進の講座を11月に行った。
- ・⑤子供の読書活動の推進と小中学校との連携について、「生きる力を育てるために～絵本のある子育て～」を2月に実施し、6名の参加があった。3月に2回目を開催した。
- ・⑤子ども司書講座を3月に実施中で、職場体験やまちたんけんを受け入れた。
- ・⑤地域や施設との連携で、学童の運営がシダックス（SHIDAX）に代わるが、団体貸出は継続となった。新規としてかえでクラブが実施予定。
- ・⑥地域に根差し、住民、利用者とともに育む図書館運営について、読書会を11月に実施し、15名の参加があった。
- ・⑥東武動物公園講演会「いのちをまもるじゅういのしごと」に92名の参加があった。
- ・⑥大人のための16mm映画会は30周年記念として、映画会と童話と絵本の会を同時に実施する「図書館のニコニコ大会」を行った。
- ・リクエスト件数、レファレンス件数が昨年よりも伸びている。

《（2）に関する主な質疑応答》

委員 ブックポストの返却について、名前やいつ借りたかというカードを添えて返さなくていいのか。

図書館 本をポストに入れるだけで返却できる。

委員 団体貸出の実施について、かえでクラブ以外の学童は、団体貸出しているのか。本はどのくらいの頻度で入れ替えているのか。

図書館 かえでクラブ以外は全部実施している。入れ替えは年4回だったが、来年度から学期ごとの3回になる予定。現在は1クラス1回20冊を貸し出している。全部で3クラスあるので入れ替えは1施設60冊になる。

委員 団体貸出で昨年と比較して貸出冊数が非常に減っている原因は何か。一般は昨年の半分になっている。一般で団体貸出に登録している団体はどのくらいあるのか。

図書館 掘めていない。コロナ以降来られない団体さんがあって、学校関係以外でコンスタントに来られているのは1団体くらいしかない。

委員 特別支援学校宮代分校の職場体験の内容はどのようなものか。

図書館 体験については、10時～12時の2時間で、カウンターの返却の仕事や配架の仕事、修理や装備の仕事も時間内でしてもらっている。秋頃から12月まで月に1回～2回で、下期は平均毎月やっていた。中学校の職場体験とは違う。

委員 受払統計について、蔵書総数を教えてほしい。

図書館 2月末現在の数字になるが、一般書・児童書・紙芝居が273,721、雑誌8,218、AV8,334で、合計290,273になる。

- 委員 科学をテーマにした催しを日本工業大学の先生と一緒にいったときに、子供向けの科学の本を探しにきた。30年前の本があったため、科学は進歩するので新しい本もそろえてほしい。予算もあると思うが頑張ってほしい。
- 委員 新しく出た本も買っていると思うが、点検は必要だと思う。今の実情にそぐわない本があるかどうかのチェックはしたほうが良い。
- 図書館 承知した。
- 委員 書店が減っていて地域の生活圏で紙の本に触れる経験が図書館以外にあるのかと思っている。図書館はより本にふれる施設であってほしい。漫画などの興味がわく本も入れるといいのではないかな。
- 杉戸町では大正製薬の創業者が杉戸町出身ということもあり、寄贈された本のコーナーがある。寄付を募るなどの取り組みも考えていってもよいと思う。
- 委員 雑誌広告が増えたと思うがどのくらいのお金になるのか。
- 図書館 1社3万円、来期からも広告も増える予定。
- 委員 漫画は入れないのか。
- 図書館 漫画の選書が難しい。ある程度の期間を経過している「名作」といわれているものになる。継続している作品には手を出せない。
- 委員 第2次図書館ビジョンの資料収集方針に基づいて資料を収集している。資料収集方針の見直しをしても良いと思う。
- 委員 宮代町の図書館は他の図書館と比べると雑誌の種類が多い。ダンスやマラソン、ラジコンなど、ものすごく多くなっている。雑誌の種類は充実している。
- 委員 最初のお話の趣旨に戻るが、本屋さんが少なくなって、子供たちもどこで本を探すのかという問題を懸念している。ブックスタートでお母さん方が赤ちゃんに読んであげて、その後に図書館に通ってくれるようになって、その子供たちが図書館で本を借りてくれることが大切だと思う。
- ブックスタートは本当に大切だと思っている。コミックがあるからといって入館者が増えたとしてもコミックだけを読みに来ることにつながる。それよりも本屋がなくなっていく環境の中、小さいお子さんたちが図書館に来て良い本を読んでもらったらよい。ブックスタートを大切にしていってほしい。
- 委員 本屋に行っても子供の本は年間何百冊と出版され、良いのも悪いものもある。親は高い本を買うのを迷っているよりは図書館に行って本を借りて、気に入ったものを購入することをブックスタートの際に勧めている。図書館は町民ひとりひとりの財産という認識がなく、自分たちは関係ないと思っている人が多いと感じている。自分たちの本なんだということをブックスタートで伝えていきたい。
- 15%の市町村は図書館もなければ書店もない。「地道に読み手を育てることに取り組むべきではないか」という新聞記事が出ていた。読み手を育てるとは紙の本に触れる機会を増やすこと。今は親が情報収集するときにスマホを使っているので、紙の本に接しなくても情報や知識が入ることが、図書館利用が減った原因の一つではないかと思う。「読み手を増やす」ということに図書館の役割は

大きいと思う。

委員 にちようえほんの会に行ったときに、参加している人でお父さんも一緒に来ている光景もだんだん見受けられるようになった。赤ちゃんに本を読んであげることの大切さを地道に伝えていきたい。

委員 ブックスタートもお父さんも一緒に来る人が増えてきた。ブックスタートは生後4か月の赤ちゃんに本をプレゼントする企画なので親が若い、または宮代に来たばかりという人が多い。図書館に来たことがないという人が多いので、これを機会に図書館利用カード作ってもらっている。

委員 ブックスタートのときに0、1、2、3の絵本の会を宣伝している。5か月、6か月でも来てくれている。

委員 大宮や浦和の図書館は意識の高い人や人口が多いのもあってお話をやると申し込んでも抽選になるらしい。ここは参加者が少なくてもったいないと思う。

委員 新しい村に面しているテラスが汚れてきているので、もしよかったら高圧洗浄機できれいにするワークショップをやりたい。現在館長と相談している。東小のおやじの会は自分たちの子供が通っている学校の外壁を高圧洗浄機できれいにしているところから参考にさせてもらった。やる際にはみなさんにもぜひ参加してほしい。

図書館 もう少し暖かくなってからを予定している。

委員 図書館のコーナー紹介のところに、紹介コーナーの写真を投稿したら全国で2位になったという掲示があり、アイデアが素晴らしいと思った。1位はどこだったのか。

図書館 全国の図書館の特集コーナーで2021年に本の表紙やタイトルに色がある本を集めた。本をよく知っていないと集められない。出版社のブックフェアがあり、全国でおもしろい取り組みをしているところを募集していたため、会社経由で送ったところ、採用されて全国を回った。ブックフェアに来ている人の投票で2位になった。1位の北海道の苫小牧市は本を入れるケースをピザの箱にして、子供たちが喜んで本を借りているという取り組みだった。

委員 今回のまとめとして、選定基準の見直しは考えても良いと思う。検討委員会を作るなり課題として考えてほしい。実際に本に触れる機会を図書館として今後増やして欲しい。

3. その他

事務局より連絡事項

図書館協議委員向けのアンケートを今年もお願いしたい。

次回の図書館協議会は6月上旬を予定しているので、後日日程調整を行う予定。

4. 閉会